

# 海外赴任者(家族)の健康管理体制構築と医療費対策

～メンタルを中心とした健康問題による労使間トラブルへの対応法、増加する医療費の抑制～

- 日時■ 2016年 9月26日(月) 13:30～17:00  
 ■会場■ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)  
 ■講師■ 株式会社 MD. ネット 代表取締役社長 精神科専門医 産業医 佐野 秀典 氏  
 専務取締役 渡辺 ユキノ 氏

佐野秀典氏【講師紹介】医学博士、精神保健指定医、精神保健専門医、産業医。早稲田大学理工学術院非常勤講師。医療法人理事長。日本における海外赴任者のメンタルヘルスケアの第一人者。現在、海外進出企業のメンタルヘルス体制構築、海外医療・メンタルヘルス相談、海外勤務適正検査、その他国内外でのコンサルティング活動も行っている。

渡辺ユキノ氏【講師紹介】静岡県立大学大学院・慶應義塾大学大学院修士課程修了。金融機関で調査業務を担当後、2004年 海外駐在員専門のメンタルヘルスコンサルティング会社を設立。2006年 株式会社 MD. ネットに社名変更。現在、海外進出企業のメンタルヘルス体制構築、海外医療・メンタルヘルス相談、海外勤務適性検査、その他国内外での講演活動を精力的に行っている。

## ◆ 開催にあたって

企業のグローバル化による海外赴任者増加とともに、メンタルヘルス不調者の増加、海外業務のストレスによる循環器系の疾患や生活習慣病の増加、出張者の突然死等も増加傾向にあります。また、海外医療費の増大は本社、現地事業所にとって悩ましい問題です。

海外事業の過重労働また健康問題を原因としたトラブル、民事訴訟も増えており、海外赴任者の健康リスクは企業にとって看過できない状況となっています。国内基準に準じた対策だけではカバーしきれない部分があり、海外赴任者、家族に対する「しかるべき対応、体制の構築」に取り組むことが必要です。

本セミナーでは、海外赴任者の健康不調の増加の背景、本社側の担当者が押さえておくべきリスク、体制構築のポイント、医療費削減の対応などを解説いたします。また、事例と解決策も紹介し、様々な健康上の問題に対する予防策・対応策が構築できるノウハウの習得を目指します。

《プログラム詳細は裏面をご覧ください》

## ●受講料● 1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円 本体価格 30,000円
一般	35,640円 本体価格 33,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講料・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。
- お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますことでもありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当：田中 E-mail: a-tanaka@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 2F

TEL 03-5215-3516 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局行 **FAX 03-5215-0951**

- \*当会ホームページ (<http://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます。
- \*FAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

161403 - 0503	※	2016.9.26
申込書 海外赴任者(家族)の健康管理体制構築と医療費対策		
会社名	フリガナ	
住所	〒	
TEL	FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職
Eメール		

\*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

# 海外赴任者(家族)の健康管理体制構築と医療費対策

9月26日(月)

● プログラム ●

13:30

1. 海外医療をとりまく現状と課題
  - 1) 担当者として把握しておきたい日本と海外の医療制度の違い
    - ・医療水準の差、治療費の相場
  - 2) 海外旅行傷害保険の内訳、保険料がアップする背景、ロスレシオ対策
2. 海外赴任者と帯同家族の健康不調増加の実態と背景
  - 1) 本社担当者が知らない、海外赴任者・帯同者の健康不調の実態  
(赴任者の不調傾向、国別、年齢別、相談別、帯同者の不調傾向等)
  - 2) メンタルヘルスの面から見る健康不調の問題と原因
    - ・海外赴任におけるメンタルヘルス不調が発生する原因
  - 3) フィジカルの面からみる健康不調の問題と原因
    - ・環境変化による生活習慣病の増加、心疾病、脳疾患の増大リスク
3. 海外赴任者に増加する労務トラブルの実態と対策のポイント
  - 1) 過重労働(量的、質的)の訴え
  - 2) 業者間ハラスメントの現状
  - 3) ビジネス上のコンプライアンスリスク
  - 4) 過去の裁判例からみる「本社と現地事務所の安全配慮義務と責任範囲」
4. 医療費削減・抑制を実現させる、ソリューション・ミックス
  - 1) 赴任後の不調リスクの予測方法
  - 2) 海外医療費の開示
  - 3) 地域・年齢・業務・既往などにも届いて、複合的な対策を組み合わせる
5. ケーススタディで学ぶ不調発生時の対応(トラブルに発展させないために)
  - 1) 30代男性 赴任直後にうつ病を発症 現地の素早い意思決定で、日本にすぐに一時帰国させ、積極的な投薬治療の結果、短期に回復し、活躍中
  - 2) 40代男性 腰痛を訴え整形外科で治療するが回復せず。循環器疾患を疑い早急に病院を手配し、遠隔治療支援の結果、初期の心筋梗塞。大事に至らずに無事回復
  - 3) 日本で高額治療をしている家族のケース、海外での医療費対応方法は
6. 事業成功につなげるための健康管理体制の構築方法
  - 1) 人材の育成法
  - 2) 赴任前の戦略的教育方法
  - 3) 赴任前の健康管理準備

※「帯同家族に関する海外赴任健康管理に関するガイドライン」  
「海外勤務健康管理に関するガイドライン」  
「健康管理確認票」

ガイドライン・ひな型の説明付き

17:00